

大和高田市学校施設再配置基本方針・基本計画（案）に対する  
意見募集（パブリックコメント）の結果について

1. 意見募集の概要

政策等の題名	大和高田市学校施設再配置基本方針・基本計画（案）
政策等の案の公表の日	2026年1月22日（木）
意見提出期間	2026年1月22日（木）～2026年2月20日（金）
市民への周知方法 （案の閲覧場所）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページ</li> <li>・大和高田市役所 1階 市政情報コーナー</li> <li>・中央公民館 玄関ホール</li> <li>・市立図書館 玄関ホール</li> <li>・文化会館（さざんかホール） 1階 インフォメーションカウンター</li> <li>・市民交流センター（コスモスプラザ） 2階 ロビー</li> <li>・総合体育館事務所前</li> <li>・コミュニティプール事務所前</li> <li>・市立病院 1階 西玄関イトインコーナー</li> <li>・葛城コミュニティーセンター</li> <li>・総合福祉会館（ゆうゆうセンター）</li> <li>・保健センター</li> <li>・天満診療所</li> <li>・学校教育課（市役所2階）</li> </ul>

2. 結果の概要

提出された意見は、以下のとおりです。

意見数（意見提出者数）	15件
電子メール	2件
ファクシミリ	2件
郵送	0件
直接提出	11件
無効な意見提出	0件

3. 提出意見の内容

パブリックコメントで抽出された意見の内容とそれに対する市の考え方は、次のとおりです。

区分	意見の考慮の結果	件数
A	意見を踏まえ、反映したもの	0件
B	意見の趣旨が、既に反映されているもの	7件
C	今後の検討のために参考とするもの	8件
D	その他（質問など）	0件

(具体的な意見)

No	意見の内容(要旨)	区分	市の考え方
1	<p>少子化に伴い、小中一貫の3校へシフトするのは合理的だと考えますが、離れた地域の小学生はスクールバスの導入が必須です。これだけは譲れません。できれば中学生もスクールバス利用させてあげて欲しいです(きぼう号を学校前に停車するようにして、下校時間に合わせた運行ダイヤ、ルートを調整することなども検討)。</p> <p>統廃合で浮いた資金で是非ともスクールバスだけは導入して下さい。菅原校区ですが、子供の足で片塩中学校付近まで徒歩移動させることだけはしないで下さい。むしろスクールバスを導入してもらえらるなら西中も廃校して2小2中も可能ではないでしょうか。</p> <p>スクールバス希望と申し上げましたが、浮孔小・片塩中はスクールバスが対向できるほどの道幅がないから現実的にはワゴン車でないと出入りは厳しいでしょう。統廃合を進める上では遠距離からの通学支援のためのスクールバスは必要と感じますが、浮孔小片塩中は道路状況がそれに適さないと考えます。</p> <p>これからますます統廃合が進んでいく上で、スクールバスでアクセスできない立地先の学校というのがそもそも選択肢として疑問です。西中や高中はスクールバスでのアクセスが可能な道路状況ですが片中はスクールバスという選択が取りづらい立地です。このことから3小3中に統廃合する上で障害となるのは片中であると考えます。</p> <p>そのことから総合公園の敷地内、もしくは近郊を用地取得して新たに小中一貫校(浮孔小、片塩中を移転)を建設するのが望ましいのではないのでしょうか。(現在より南に移動することで通学エリアを見直し、片塩中校区に生徒人数が偏っているのが緩和されることも期待される)</p>	B	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>令和6年度及び令和7年度に実施しましたアンケートやワークショップにおきましても、子どもたちの通学と安全の確保について配慮すべきという意見が多くみられ、通学時の安全性については教育委員会としましても十分に検討を重ねる必要があると考えております。</p> <p>再編後の具体的な学校配置については、中学校区ごとに通学のしやすさや学校施設の立地要件などを考慮し、今後保護者や地域住民、学校関係者等の十分な合意形成を図りながら検討を進めてまいります。再編に伴い、現状の通学区域における最長距離や最長時間を大幅に超える地域が生じる場合には、スクールバスの運行を含め、子ども、保護者の負担が大きくなるよう、地域の実情に応じた対策方法について検討してまいります。</p>

(具体的な意見)

No	意見の内容(要旨)	区分	市の考え方
2	<p>土庫小学校などはクラスの人数が1桁台など、適正なクラスの数ではないことはわかりますが、高田小学校に統合されたとすると、通学距離が遠く、ちゃんと通学できるか、親としては心配です。もっと山間部の子どもたちはもっと遠い距離を通学しているだろうと思います。大和高田市は車の交通量が多いと思うので、独自の課題として考えたらと思います。難しい問題ですが。</p>	B	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本市の特徴として車の交通量が多いとのご意見につきましては、関係機関と対策方法について検討を行い、子どもが安全に通うことができるように通学路の安全確保に努めます。</p> <p>再編に伴い、現状の通学区域における最長距離や最長時間を大幅に超える地域が生じる場合には、スクールバスの運行を含め、子ども、保護者の負担が大きくなるよう、地域の実情に応じた対策方法について検討してまいります。</p>
3	<p>現在菅原小学校区に在住し、3歳の長男と0歳8ヶ月の次男がいます。3小3中の施策が早く進めば、長男は最初、菅原小学校へ通い、途中から合併した小学校に通うこととなります。この校区は合併するなら、校舎は片塩小学校になるのでしょうか？それならかなりの距離になります。地図で検索すると3.5キロ程あります。菅原小学校区の南部の家庭はまた更に遠くなります。他の校舎になっても同様に、多くの菅原小学校区の家庭は学校までの距離が遠くなります。</p> <p>対策として「①隣接する学区での選択制②スクールバスの運行③自転車通学」とありますが、菅原小学校区にとって①は解決策にならず、②のスクールバス利用の基準、対象者等詳細が不明瞭なこと、③の自転車通学は低学年の児童は不可能だと思います。</p>	B	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>学校再編の実施時期は、将来の児童・生徒数に注視しながら、保護者や地域住民、学校関係者等の十分な理解が得られた学校から進めてまいります。</p> <p>再編後の具体的な学校配置については、中学校区ごとに通学のしやすさや学校施設の立地要件などを考慮し、今後保護者や地域住民、学校関係者等の十分な合意形成を図りながら検討を進めてまいります。</p> <p>再編に伴い、現状の通学区域における最長距離や最長時間を大幅に超える地域が生じる場合には、スクールバスの運行を含め、子ども、保護者の負担が大きくなるよう、地域の実情に応じた対策方法について検討してまいります。</p> <p>ご指摘のとおり通学方法につきましては十分に協議を行い、検討してまいります。</p>

(具体的な意見)

No	意見の内容(要旨)	区分	市の考え方
4	<p>予想される人口の減少、特に年少人口の減少に合わせての学校の統廃合は必要なことと思われた。適正なクラス人数という考え方も、実際に子育てをしてきて感じるところであった。</p> <p>学年によって差があったことも仕方なかったが通学距離が4 km、6 kmになることは、大和高田市ならほぼ全域に該当するので、通学バス、自転車などでも心配。イレギュラーな体調不良や、行事での変更があった際、通学バスで対応してもらえるのか?とまず考えてしまった。子どもは小学校まで片道2 kmの通学区をしていたが、体調不良の時は一人で帰ることはできなかった。</p> <p>3校にしていくことで、人員配置や通常学級も特別学級もいろいろな子どもに対して、満たされる環境になることを願います。</p>	B	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>再編に伴い、現状の通学区域における最長距離や最長時間を大幅に超える地域が生じる場合には、スクールバスの運行を含め、子ども、保護者の負担が大きくなるよう、地域の実情に応じた対策方法について検討し、本市の児童、生徒にとって望ましい教育環境の充実に向け取り組んでまいります。</p>
5	<p>現在8校ある小学校を3校にする案は無理が生じるのでは?と思います。特に菅原小学校は統合されるとなるとどこに通うことになるのでしょうか。</p> <p>通学を考えると、スクールバスが必要になるのではと思いますが、地元住民の了解が必要ですし、難しい案件になると思われます。</p>	B	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本市にとって望ましい教育環境の実現に向け、適正規模・適正配置の考え方にに基づき、すべての学年でクラス替えが出来る規模を維持できるよう、再編に取り組んでまいります。ご意見いただきました菅原小学校につきましては、片塩中学校校区の再編時期に通学のしやすさや学校施設の立地要件などを考慮し、適正な配置について検討を進めてまいります。</p> <p>またスクールバスの運用については、再編に伴い、子どもや保護者の負担が大きくなるよう、地域の実情に応じた対策方法について検討してまいります。</p>

(具体的な意見)

No	意見の内容(要旨)	区分	市の考え方
6	<p>P11の今後の小・中学校の児童数・生徒数の見通しの数字を見て、 がく然とするばかりである。20年後には高田小学校を除く全ての小学校が1学年1学級である。その見通しがどこから来るのか、あまりにも減少することを想定しすぎではないか。なぜ児童数が増えるように展望できないのか。</p> <p>全国的に見れば子どもたちが住みよいまちづくりをして転居してくる住民が増えたという市もあるではないか。住みよい町づくり、まわりから転居してきたいと思わせる町づくりを目指さないか。そうすれば人口も増え、子どもが増え、各小学校の児童も増え、遠くの小学校に1時間もかけて通わなくてすむ近くの小学校を残せるのではないか。</p> <p>小学校の1年生が1時間かけて通学する姿を想像できない。魅力ある街づくりを目指して市長はじめ市職員に頑張ってもらいたい。</p>	C	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本市の児童、生徒数の見通しについては、令和2年度の国勢調査を基にした推計人口の数値となっております。全国的に少子化が進み、人口減少が見込まれるなか、本市では地域活性化などによる持続可能なまちづくりを進めており、その実現に向け、各種施策や取組を進めているところであります。</p> <p>学校の再編により、子育て世帯にとって魅力的な教育環境を実現し、子どもたちにとって住みよいまちとなるよう、関係部署と十分に協議を行ってまいります。</p> <p>また、再編に伴い、現状の通学区域における最長距離や最長時間を大幅に超える地域が生じる場合には、スクールバスの運行を含め、子ども、保護者の負担が大きくなるよう、地域の実情に応じた対策方法について検討し、本市の児童、生徒にとって望ましい教育環境の充実に向け取り組んでまいります。</p>

(具体的な意見)

No	意見の内容(要旨)	区分	市の考え方
7	<p>高田市の人口は、毎年減り続け、子どもたちも随分減っていることにびっくりしました。それでも、朝、地域の子どもたちが、仲良くならんで登校していく姿を見て、微笑ましく、励まされています。自分の地域に学校がなくなったら？子育てしようとする人もいなくなるのでは？子どもたちも町からいなくなります。事実、今でも子育てするなら市外に離れていっているのに、物件は売れず、空き家が増え、ますます過疎化が進んで、衰退していくと思います。</p> <p>避難所でもある学校がなくなるのは、とても不安です。それだけでなくとも避難所が少ない、高齢者にとっては、避難する足の確保が難しいと言われているのに、とても困ります。子どもは学校まで歩いて安全に行くことを学びます。歩いて地域のことを学びます。地域の方に見守られながら、声をかけあったりしてふれあい、人の温かさを感じ取ることもできます。子どもの頃、遠い道を友達と喋りながら下校していた思い出は今も脳裏に焼き付いています。そういう経験が、子ども時代には大切だと思っています。また、通学バスとなると、この狭い高田の町、朝は、どの道も混みます。バスを待つ間の子どもたちも事故にあわないか心配です。子どもにとっては、体力的にも、精神的にもかなりの負担になると思います。</p> <p>私は、祖父母の時代から、親子4代、高田に住んでいます。私の子どもが私も歌っていた校歌を歌っていた時は、胸が熱くなりました。時代とともに変わっていくのは当たり前ですが、自分の出身校がなくなるといのは、ほんとに寂しいです。</p> <p>今、中央公民館も閉鎖されようとしています。今ある小学校が、地域の拠点として、公民館の役割や市民の交流の場として、使われるようになれば、もっと地域が活性していくと思います。8校から3校の統廃合はあり得ないです。</p>	C	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘の通り、学校は教育環境の場としてだけではなく、地域との深い関わりを持った地域コミュニティの拠点として、防災、子育て支援等、様々な地域における活動拠点としての役割も担っています。</p> <p>学校の再編は児童・生徒にとってより良い教育環境を整備することを一番の目的としていますが、同時に「地域とともに存続する施設づくり」の視点を踏まえ、保護者や地域住民、学校関係者等との十分な合意形成の機会を設けながら進めてまいります。</p> <p>再編に伴い、現状の通学区域における最長距離や最長時間を大幅に超える地域が生じる場合には、スクールバスの運行を含め、子ども、保護者の負担が大きくなるよう、地域の実情に応じた対策方法について検討するとともに、子どもが安全に通うことができるように通学路の安全確保に努めます。</p> <p>学校跡地の在り方についても、避難所の機能や地域コミュニティの機能をどのように継承していくのか、代替となる施設があるのかなど、庁内の関係部署とも連携し、地域住民の皆さまの十分な合意形成を図りながら、検討を進めてまいります。</p>

(具体的な意見)

No	意見の内容(要旨)	区分	市の考え方
8	パブコメを求めているようだが、もっと手短にかみ砕いて書いてもらわないと困る。この文章では何を言いたいのかさっぱりわからない。	C	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本計画では、将来の児童・生徒数の見通し等を整理したうえで、本市の学校園の望ましい教育環境としての適正規模・適正配置の基準(P21,23)をお示しするとともに、それらを実現するため目標校数を小学校3校、中学校3校とする方針(P27)を示しております。</p> <p>具体的な検討は今後進めてまいります。学校の再編は、市民の皆様にとっても、今後の大和高田市のまちづくりを進めていくうえで重要な取組であると考えており、保護者や地域住民、学校関係者等と十分な合意形成を図りながら計画を進めてまいります。</p> <p>ご意見を踏まえ、今後もよりわかりやすい資料作成に努めるとともに、ホームページや広報誌、公式SNSなど多様な手段を通じて、情報を発信してまいりたいと考えております。</p>
9	ややこしく、危険な狭い道路、これで人は増えない。 学校を小さくするより、老朽家屋を解体し、子どもを育てやすく、住みやすい明るく広い安全な道路を計画してほしい。	C	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本市の重要なインフラ施設である道路整備については、庁内の関係部署と共有を図り、今後の検討の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、本市では通学路の安全性を確保するため、関係部署と連携して定期的な通学路の点検を実施しています。今後も再編に関わらず、定期的な通学路の点検の実施とともに、関係部署と連携しながら、安全性の確保に努めます。</p> <p>また、本市では地域活性化などによる持続可能なまちづくりを進めております。関係部署と十分に協議を行い住みよいまちづくりの実現に向け、取り組んでまいります。</p>

(具体的な意見)

No	意見の内容(要旨)	区分	市の考え方
10	<p>大和高田市が提示する小学校の適正な規模について、現状土庫小学校について、その学級数が長年割っている状況について、昔から学級数が割っているにしても、人数が昔と比較して大幅に減少している。その状況を放置して、統合を急がない理由はなぜですか。住民理解というのわかりますが、現状いま小学校生活を送っている児童や今後通うであろう子どもを想像して急いでもらいたいです。</p> <p>大和高田市の財政状況を鑑みても、急ぐに越したことはないと思います。</p> <p>近年、土庫小学校に進学せずに、私立小学校や地区外の小学校に転出する児童数の統計などもとって、急ぐ理由などを考えてほしいです。複式学級は苦肉の策にしかみえないです。それを現状維持するなら、統合を前倒しするか、統合先の小学校に任意で転校できるようにしてほしいです。</p>	C	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>既に小規模校となっている土庫小学校は、適正規模の実現に向け早急な対策が必要と考えています。</p> <p>一方で、学校は教育環境の場としてだけでなく、地域社会と密接な関係を持ち、地域コミュニティの核としての役割も担っていますので、再編の時期については保護者や地域住民、学校関係者等の十分な理解と協力を得られるように取組を進めてまいります。</p> <p>再編を実施するまでの間につきましても、小規模校の課題には可能な限り対応し、教育環境の維持に努めるとともに、通学区域の弾力化や見直しなどについて検討してまいります。</p>

(具体的な意見)

No	意見の内容(要旨)	区分	市の考え方
11	<p>25 ページの実施時期には、“10 年以内に適正規模校の範囲を下回り、小規模校となることが見込まれる段階で”再編に着手すると記載されていますが、土庫小学校は早々に隣接校へ吸収されるということでしょうか。</p> <p>再配置計画案を拝見する限り、現状の教育スタイルが今後も当然続いている前提のように感じました。資料にもあるように不登校児童数は右肩上がりである現状や、デジタル技術等を用いた教育などで今後の教育環境を変える可能性があると感じていますが、現状の教育スタイルに対して、今後の変容の有無などを含めて、どのように見直しをお持ちでしょうか。</p> <p>小中一貫校の是非について、特に意見は持っていませんが、例えばつくば市が今後小中一貫校をつくらないと判断されたような見解を、どのように評価されていますか。</p> <p>近年、大和高田市の財政は特に厳しいようですが、財政的な観点から考えると、集約化により必須となるだろうスクールバスは財政負担を強いることになるのではと考えます。施設集約による運営費削減と比較した場合でも、財政的なメリットが期待できるのでしょうか。</p>	C	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本市が目指す新しい学校に向けた再編の取組により、これからの教育環境について十分に検討し、先進的 ICT 教育に対応する設備や授業形態に合わせて、子どもたちが主体的に選べる柔軟な教育環境を整備したいと考えています。</p> <p>一概に比較は難しいですが、つくば市に限らず、本市に先行して学校再編の取組を行っている他自治体の事例について研究し、参考にしたいと考えております。</p> <p>スクールバスの運行につきましては、再編後の具体的な学校配置の検討を進める中で、子どもたちや保護者の通学の負担が大きくなることを念頭に、財政負担についても検証を進めてまいります。</p>

(具体的な意見)

No	意見の内容(要旨)	区分	市の考え方
12	<p>大和高田市においての小中学校児童数は今後も減少するとのことであり、学校単位での同学年の切磋琢磨した活動は乏しくなると考える。今後少人数でのクラス編成を強いられた場合、学年単位で発生したいじめ等の問題に対処が難しい。よって、現在の児童数に見合った施設規模や既存施設の老朽化を勘案し新たに学区を編成したうえで、施設整備を行うことが効率的である。</p> <p>市内の学校再編を軸に本市の活性化も期待したい。他都市にない魅力ある学校づくりを行い若年層や新婚世帯層の流入を促進する。また「信頼される学校園づくりに向けた13の取組」はもとより、市内の商業活性化に向けた地域活動を授業に取り入れ高田商業高校や商工会と連携・共同することで地域密着型の学校園を目指すべきと考える。</p> <p>学校再編においては、小中一貫校の推進が重要と考える。再編(統合)した場合、遠方からの通学など諸問題が多数あると思われるが安全立哨やスクールバス、通学路整備等、ハード面でクリアできるものは早急に整備をしつつ、ソフト面においては、他都市でのこれまでの成果、実績等も参考にメリットを全面に押し出して計画を遂行していただきたい。</p> <p>(大阪市：西成特区構想では今宮中、萩之茶屋小、今宮小、弘治小を統合し今宮小中一貫校として再編、他複数校事例あり)</p>	B	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご意見いただきました小規模化による問題等の解消に向け、児童・生徒にとって望ましい教育環境を実現していくため、適正規模化へ向けた取組を実施してまいります。学区の再編や施設の整備につきましては、今後検討してまいります。</p> <p>全国的に学校を核とした地域づくりが重要と考えられています。本市においても学校・地域パートナーシップ事業により、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進し、学校を核とした地域コミュニティを構築することで、子どもたちの学びや地域教育力の向上を目指しており、再編後についても同様の活動を推進していきたいと考えております。</p> <p>教育委員会としましても、9年間の義務教育において小中一貫教育の推進について、ハード面とソフト面の双方におきまして、他自治体の事例なども参考に、義務教育学校を含めた学校設置を検討してまいります。</p>

(具体的な意見)

No	意見の内容(要旨)	区分	市の考え方
13	<p>大和高田市において人口が減りそれにより出生数も減り現状を変えるのはマイナス面が目立つかと思いますが、財政状況も厳しい状態が続いているので学校の再編は仕方のないことだと思います。</p> <p>以前は地域の子どもは地域のみんで育てて、とかありましたが今、地域に子どもさんの数は少なく再編することで横のつながりもでき将来の市の財政運営にも期待しておりますのでいい方向に進んでいけるようお願いします。</p>	C	<p>ご意見ありがとうございます。本市の財政状況も踏まえ、地域とのつながりを大切にしながら、児童・生徒にとって望ましい教育環境を実現することを目的に再編に取り組んでまいります。</p>
14	<p>今30人学級ですが、先生一人で見きれず、「〇〇くんにたたかれた」などと毎日言い、学校へ行き渋りがあり、学校が落ち着いていない状況であるとききました。今の児童・生徒数で落ち着いているなら、合併も考えられるかもしれませんが、これ以上増やすと先生の負担も大きくなり、生徒に目が行きにくくなり、いじめや不登校が増えると思います。なので合併は反対です。</p> <p>また、小学校が近いからという理由で家を建てました。周りにも新築の家がたくさんあります。なのに合併してしまうと、送迎も親がしないといけなくなり、子どもも一人で帰らせるのが心配です。小学校6年間毎日の送迎は負担が大きすぎます。その小学校でクラスを少なくするなど、できることはたくさんあると思います。なので合併は反対です。</p>	B	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>学校の再編の時期に関しましては、各中学校区の児童・生徒数に注視しながら適正規模を下回るタイミングで、再編に向け取組を進めていこうと考えております。</p> <p>ご意見いただきましたように児童・生徒にとって望ましい教育環境を実現することを目的に、保護者や地域住民、学校関係者等の十分な理解を得ながら計画を進めてまいります。</p> <p>また、再編に伴い、現状の通学区域における最長距離や最長時間を大幅に超える地域が生じる場合には、スクールバスの運行を含め、子ども、保護者の負担が大きくならないよう、通学路の安全確保に努めます。</p>

(具体的な意見)

No	意見の内容(要旨)	区分	市の考え方
15	<p>市内の学校の状況がよく分かりました。統廃合でも再編どちらでも賛成です。</p> <p>子どもたちの教育のために、1年でも早く進めて欲しいと思います。遅くなればなるほど児童数は減少し、教育環境が悪くなっていくと思います。</p> <p>学校数を減らすことにより、教員不足の解消にもつながるのではないかと、単純ではありますがそのような2つのメリットを考えます。意見を言うのは簡単ですが、どうか大和高田市のために早急実現できるように頑張ってください。</p> <p>今、中央公民館が閉館に向かっています。中央公民館は西町(高田校区)周辺の地域住民が集う場所としての意味もあります。願わくば、ここ西町に近い高田小学校が使えるようになると、生涯学習の場としても集会の場としても社会教育の場としても有意義に活用できると思います。高田中学校をリノベーションし児童・生徒のために活用すると、高田こども園の乳幼児さんや小中(高田中学校地)の児童生徒と市民が交流でき、コミュニティも図れるのではないのでしょうか。災害時のことも含めて自助、公助の精神も養われていくイメージがもてます。そのことも合わせて検討していただきたいです。</p>	C	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご意見いただきました2点につきましては、教育委員会としましても学校再編によるメリットであると考えております。</p> <p>学校は教育環境の場としてだけでなく、地域との深いかかわりを持った地域コミュニティの拠点として、防災、子育て支援等、様々な地域における活動拠点としての役割を担っています。</p> <p>新たな再編後の学校につきましては、保護者や地域住民、学校関係者等の十分な理解を得ながら、検討してまいります。</p>